

首都圏外縁部の観光地域を対象とした フィールドワーク教育の実践とそのマニュアルづくり

コミュニティデザイン学科 代表者：鈴木富之

協力者：田中春良・鳥水梨歩・藤田小百合・丸山舞矢

I. はじめに

(1) 研究目的

人口集積地域である首都圏の外縁部では、高度経済成長期以降に多種類の観光地域が形成されている。本研究の目的は、首都圏外縁部を対象としてフィールドワークの手法の1つである巡検学習の実践を紹介し、その教育的効果を考察することである。

(2) 巡検とは？

地理学では、フィールドワーク学習は、表1で示したように、①調査と②巡検の2種類に分けることができる。松岡（2012）によると、本稿で取り上げる巡検とは、「観察の方法を中心にいろいろな場所を巡って、地域の特色を見聞し、検討する活動」と定義されている。観察や視察に重点が置かれ、自然・歴史・文化・社会・経済など様々な事象を取り上げることが可能である。

(3) 巡検の実施日

- ・渡良瀬遊水地巡検...2019年7月30日（教員、ゼミ生5名、小山市職員2名）
- ・つくば巡検...2020年1月26日（教員、観光学実習受講生11名）
- ・群馬巡検...2020年2月5日（教員、ゼミ生8名）

II. 渡良瀬遊水地巡検の実践：大学生観光まちづくりコンテスト出場に向けて



渡良瀬遊水地



旧下野煉瓦製造会社煉瓦窯

大学生観光まちづくり
コンテスト特別賞受賞

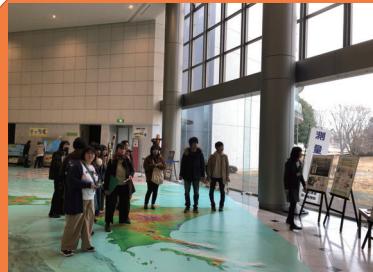
【学習ポイント】

- ①小山市における渡良瀬遊水地の地域資源を活用した地域振興の現状（ヨシズ生産、ナマズ料理、エコツーリズムに向けた水辺環境整備など）
- ②栃木市渡良瀬遊水地ハートランド城や道の駅かぞわらせなどの観光施設の現状
- ③産業遺産（旧下野煉瓦製造会社煉瓦窯）の観光資源化

【教育効果】

小山市協力のもと、観光まちづくりコンテストに出場し、周辺市町の広域連携によるサイクリング観光の円滑化について提言を行った。特別賞「TABIRIN賞」を受賞した。

III. つくば巡検の実践：筑波研究学園都市の都市形成と産業観光を知る



国土地理院



つくば駅周辺部



筑波宇宙センター

【学習ポイント】

- ①筑波研究学園都市における産業観光の実態。
 - ・国土地理院地図と測量の科学館
 - ・つくばエキスポセンター
 - ・筑波宇宙センター
- ②筑波研究学園都市における都市形成のプロセスや都市機能の特徴
- ③つくば市における農業の特徴

【教育効果】

研究機関に勤務する研究者を活用したイベントの実施や子育て世代の移住促進などの提言がなされた。

IV. 群馬巡検の実践：群馬県の産業観光を知る



富岡製糸場



こんにゃくパーク



桐生の織物

【学習ポイント】

- ①養蚕業や製糸業、織物などが盛んな群馬県の産業遺産の実態
 - ・富岡製糸場
 - ・織物参考館「紫」（通称・のこぎり屋根）
- ②首都圏近郊の農業地帯としての群馬県における食を活かした産業観光の実態
 - ・こんにゃくパーク
 - 工場見学とこんにゃく料理の無料試食

【教育効果】

ターゲットを明確にし、観光客の誘致に取り組むことについて提言がなされた。

●本研究に関する質問やコメントなどがございましたら、以下にご連絡いただけますと幸いです。
問合せ先：t.suzuki@cc.utsunomiya-u.ac.jp（宇都宮大学地域デザイン科学部講師・鈴木富之）